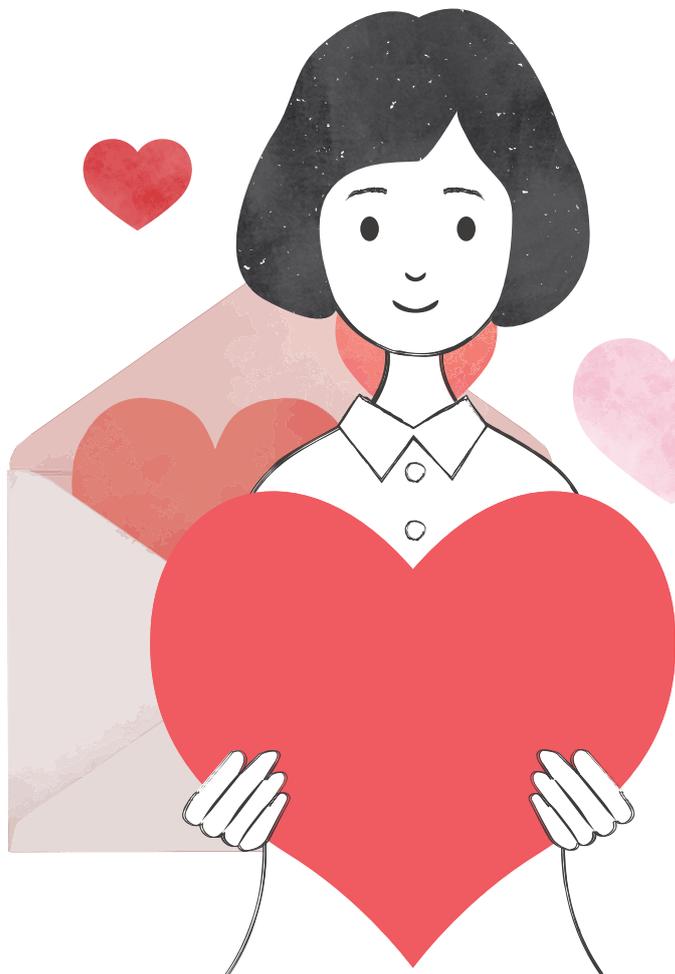


子宮頸がんは、
HPVワクチンで
予防できます。



16歳~28歳の女性の方へ

(1997年4月2日~2009年4月1日生まれ)

キャッチアップ接種対象者の

公費接種の期限が
延長されました!

期日:2025年3月31日まで

HPVワクチンは合計3回の接種が必要です。

まずは、2025年3月31日までに
1回以上接種をお願いします!!



キャッチアップ接種対象者

1997年4月2日~2009年4月1日生まれの女性



キャッチアップ接種期間

無料

2025年3月31日まで

キャッチアップ接種期間終了後1年間

キャッチアップ接種期間中に1回でも接種すると、

2・3回目も無料

2026年3月31日まで

※ 期間内に一度も接種されなかった場合
2025年4月1日以降は実費負担
約4~10万円が必要になります。

定期接種対象者

2024年度に小学6年生~高校1年生相当の女性
(2008年4月2日~2013年4月1日生まれ)

定期接種(無料)の期間は、高校1年生の3月31日までです。

高校1年生の9月までに1回目の接種を済ませることをおすすめします。





HPVワクチン接種の流れ



1

病院を選ぶ

希望する HPV ワクチンの接種ができる医療機関を探しましょう。予防接種を行っている医療機関がわからない場合は、市区町村のホームページを検索してみてください。



市区町村名 HPV 予防接種 医療機関

2

予約を入れる

医療機関に連絡して、ワクチン接種の申し込みをしましょう。希望するワクチンの種類も必ず伝えてください。ワクチン予防接種予診表がない場合や、通知書に同封されていない場合は、病院に伝えておきましょう。



3

病院に行く

病院に着いたら受付を済ませ、注意事項を確認の上、予診表に記入し体温を測りましょう。

※母子健康手帳（13歳以上の方は、接種済証、接種記録カードでも可）と、予診表がある場合は持参してください。



4

医師の予診

医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。



5

ワクチン接種

ワクチンを接種します。通常は座った状態で腕の筋肉に注射しますが、横になって打つこともできますので、医師に相談してください。接種後は30分程度、病院にて座って安静にいただきます。

※ワクチン接種は合計2回または3回必要ですので、次回の接種日も考えておきましょう。医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。



一般的な接種スケジュール

- 9価ワクチンの場合 -

1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合



※1 1回目から5ヶ月以上あける。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になる。

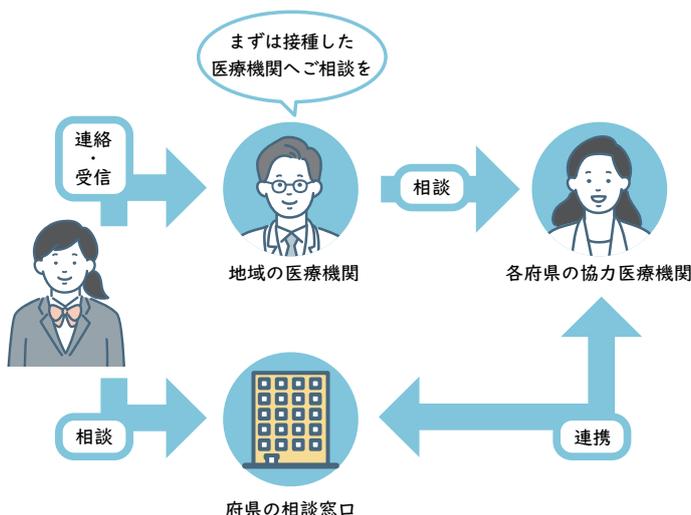
1回目の接種を15歳になってから受ける場合



※2 1回目から1ヶ月以上あける。

※3 2回目から3ヶ月以上あける。

HPVワクチン接種後の症状に関してのご相談は以下をご参照ください。



● HPV ワクチン接種後に気になる症状が出現した場合は、まずは接種を受けた医師・かかりつけの医師にご相談ください。各都道府県で選定された協力医療機関の受診については、接種を受けた医師・かかりつけの医師とご相談ください。

● HPV ワクチン接種後に出現した症状に関して、不安や疑問、困ったことがあるときは、お住まいの府県に設置された相談窓口にご相談ください。